



令和7年度の堀小の教育活動がスタートして2か月が経ちました。今年度もコミュニティ・スクールのための学校運営協議会の活動にご理解とご協力をよろしくお願いします。

大運動会で見られた教育活動の一端

「選手の皆さん、君たちの相手は『無限に広がる大空と大地』です。全力でやりなさい。（※多少文言は違ったかも知れませんが…）」藤田校長先生の“熱い”開会のあいさつで始まった大運動会。雨天で一日日延べとなりましたが、大勢の保護者や祖父母・地域の方々の参観の中、紅白に分かれての競技が繰り広げられました。

運動会は単なる体育学習の成果を発表する場だけではなく、そこには様々な教育上の意図と工夫が凝らされています。私の視点からいくつか紹介します。

ブラバント部の活躍



左は開会式の開会宣言に合わせたファンファーレです。華やかさと緊張感を醸し出しました。

右は閉会式の成績発表に合わせたドラムシンパ

奏です。これも見事な“ばちさばき”で場を盛り上げました。ブラバント部の発表の場を運動会でもうまく取り入れた演出で、発表した部員一人一人が自己肯定感を高められたことでしょう。

運動会と「大の阪踊り」



ご承知のようにユネスコの無形文化遺産に登録された「大の阪踊り」。運動会を締めくくる種目として厳かな中にもにこやかな顔が集まりました。「大の阪保存会」のお囃子と音頭、「模範踊り」とともに、4年生はお揃いの白い法被姿、グラウンドの児童の輪に保護者や祖父母・地域の方々が加わり、大きな二重の踊りの輪が出来上がりました。

ところで、どうして運動会で民謡を踊るのでしょうか？小学校で行われる体育の内容は、国が定めた『学習指導要領』で次のように定められています。その中に、低学年は「表現リズム遊び」、中・高学年は「表現運動」があります。

そして高学年では、「フォークダンス」という名称で日本各地の民謡と外国のフォークダンスを学ぶとともに、伝承された踊りを身に付けてみんなで一緒に踊るのが楽しい運動であり、踊り方を再現する学習をすることが定められています。

学年	1	2	3	4	5	6
領域	体 づ く り 運 動					
	器械・器具を使つての運動遊び		器 械 運 動			
	走・跳の運動遊び		走・跳の運動		陸 上 運 動	
	水 遊 び		浮く・泳ぐ運動		水 泳	
	ゲ ー ム				ボ ー ル 運 動	
	表現リズム遊び		表 現 運 動			
			保 健			

本来 1~4 年生では民謡を踊ることまでは求められていませんが、堀小以外でも地域の民謡を運動会の種目に取り入れている学校（広神西小：広神音頭）は多くあります。全国的（国際的にも）に珍しい民謡「大の阪」であり、保存会の方々と連携した教育活動を大切にしている意味からも、こうして全校で踊ることになったのだと思われます。

その他の着目場面



【1・2年生の種目に上の学年総動員で応援】

画像は低学年競技「レッツダンス！チェコリ玉入れ」です。着目したのは、応援席で3・6年生が一緒にダンスを踊ったり、大声で声援を送ったり、玉を数える時も大きな声で復唱していたことです。

これにはびっくりしました。上級生もチェコリダンスは経験済みなので踊れますし、微笑ましくもありました。



【選抜リレー → 全員リレーに変更。ゴールテープも格好いい！】

画像は高学年の団体種目「全員リレー」でのアウスのゴールの瞬間です。場内アナウンスで、「今年の新種目～」と言っていたので、何となく腑に落ちなかったもので、昨年度のプログラムを見てみました。すると昨年は「選手による『選抜リレー』でした。

4チームに分かれた全員で一本のバトンをリレーするという事は、「全員が主役」になれます。力の差があってもカバーし励まし合い、仲間のために全力を尽くそうとします。これこそ「温かい学級づくり」ではありませんか！「選抜」から「全員」に大きく舵を切った英断に拍手です。

また、ゴールテープも太くて色鮮やか。一位でテープを切れた子は大満足です。



【涙々の応援団長のことば】

画像は、閉会式での表彰（競技の部で準優勝、応援の部で優勝した）後の白組団長と応援リーダーです。

表彰式直後に両軍応援団長のあいさつがありましたが、その際に白組団長のNさんは、感極まって涙声になってしまいました。「みんなをまとめるのはとても大変で・・・。」恐らく団長というプレッシャーがあったのでしょう。初めて経験することばかりで悩んだことでしょう。それらを思い出してのこと

だと思います。でも、とても純真で飾らない言葉に感動しました。中学校の体育祭では、団長やリーダーが嬉しいに付け悔しいに付け涙を流すことはよくあることですが、小学生では見たことがありませんでした。良い場面でした。

◆高学年の100m走の後、**中学生の「飛び入り100m走」**も急遽行われ、場内アナウンスもあり大変良かったです。

令和7年度 第1回 堀小学校運営協議会（R7.5.22）に寄せて

方針① **新任の教職員・PTA役員・保護者の方々に、「堀小CS・学校運営委員会」を理解してもらい**ましょう

➡ 「学校運営協議会通信」の直接配付（教職員・PTA役員）、学校HPに随時掲載してもらう

方針② **教職員の皆さんの要望・悩みを聞き、対策を考える懇談会を持ち**ましょう ➡ 夏休みに。懇談会は希望する保護者にも公開して。

方針③ **「地域学校協働活動」として、田植え・稲刈り・プール監視・持久走監視・シン補助・クオンスキー補助等を保護者・祖父母・地域住民から募り**ましょう（配付文書原稿は、学校運営協議会が作成。印刷配付は学校で）

方針④ **「CSルーム（校舎2階の空き教室に机椅子、カーペット、冷蔵庫、玩具あり）」を活用**しましょう

➡ プール・持久走監視前後の休憩、参観日に低学年に開放して一緒に遊ぶ 等々